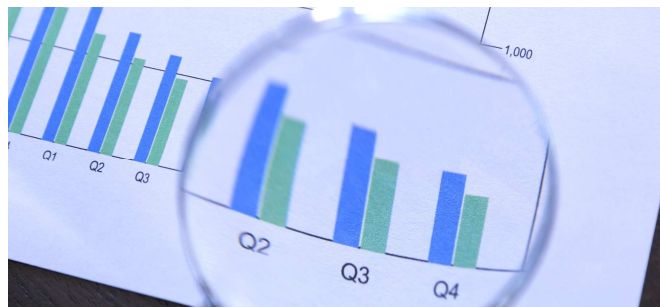




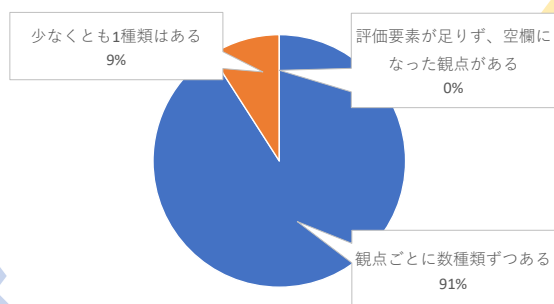
3観点の評価 1学期の評価の実施状況

東京都中学校理科教育研究会・顧問 山口 晃弘

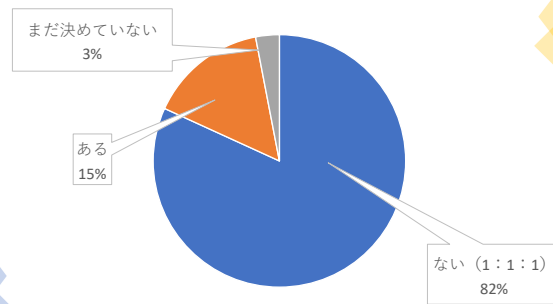
はじめに

- 学習指導要領の教育目標や内容の再整理を踏まえた結果、中学校の観点別学習状況の評価が4観点から3観点到各教科とも変わった。
- 中学校では、卒業期に高校入試を控え、生徒も保護者も内申点につながる評定には、どうしても敏感になりがちである。3観点到に変更するに当たり、理科の評価を、具体的にどうつけるべきなのか、各学校で工夫が試されている。そこで、本稿では、東京都中学校理科教育研究会の協力を得て、都内の中学校の調査し、その結果をまとめた。2学期以降の各校での取り組みの参考になれば幸いである。

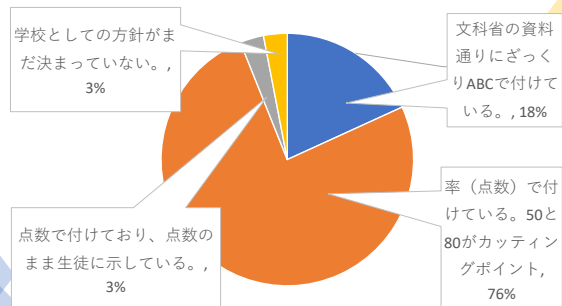
観点別評価の評価要素の数



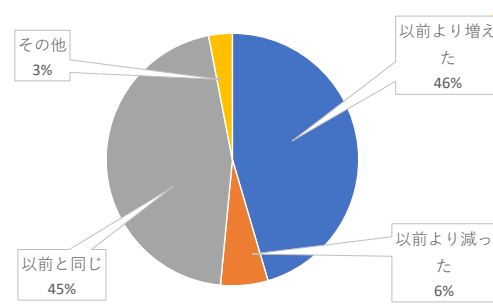
観点ごとの重み



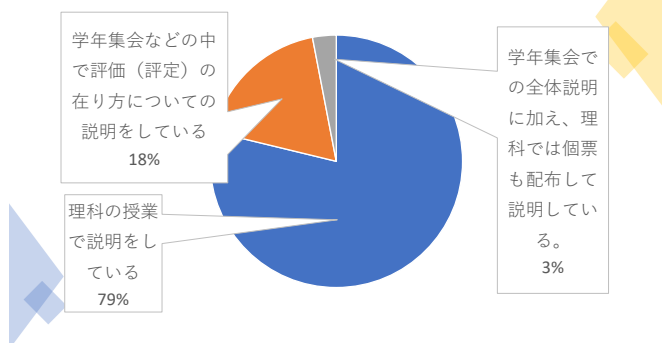
観点別評価の元資料のつけ



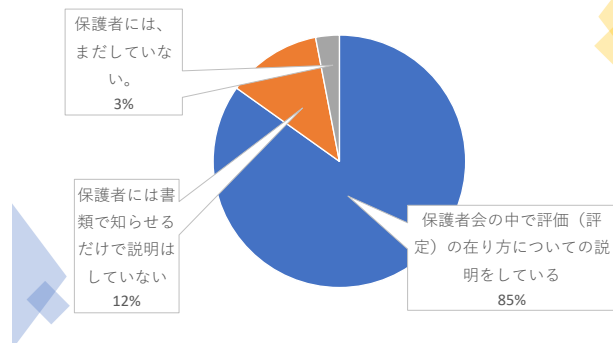
評価をするための作業時間



生徒への事前説明



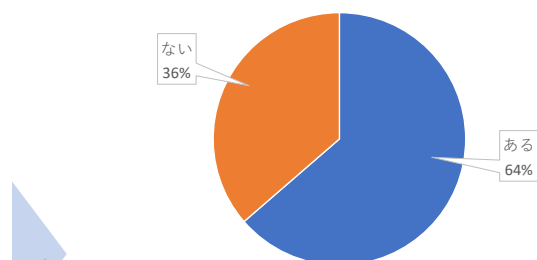
保護者への事前説明



よく用いられる評価方法

	知識及び技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ペーパーテスト	◎	○	△
授業での見取り・行動観察	△	○	◎
ワークシート・ノート		◎	◎
レポート・作品		◎	◎
ポートフォリオ	△	◎	○
相互評価・自己評価			◎

態度の評価に「行動観察」



態度の評価に「行動観察」

- 授業を行う際、机の間を回りながら指導を行うが、これはまさに行動観察による評価と指導を行っている。
- ただし、客観性や公平性・信頼性という点で工夫が必要である。記録に残すための評価ととらえると、例えば、生徒の日頃の印象に左右されていないか、長期的に生徒を観察し判断しているか、何を観察するかを明確にしているか等に留意したい。

ご清聴ありがとうございました。

この後は、元のブレイクアウトの画面にお戻りください。